

夢授業で語る奥田選手



陸上十種競技 奥田選手 特別講座

ライバルは「仲間」

第一学院高
秋田キャンパス 競技の魅力語る

陸上競技の十種競技を専門とする奥田啓祐選手(26)を招いた特別講座が12日、秋田市

広面の第一学院高等学校秋田キャンパスで開かれた。奥田選手は生徒に向けて、競技の魅力や挑戦することの大切さなどを説いた。

社会で活躍する人を講師に迎える「夢授業」の一環。奥田選手は同校の教員でもあり、現在は東京を拠点に活動する。昨年、秋田市で開かれ

た日本選手権では男子十種競技を初制覇した。生徒約20人が出席。奥田選手は、大会の映像をモニターに映しながら十種競技を紹介。1000円や15000円、走り幅跳び、砲丸投げ、走り高跳びなど10種目を2日間で行つたことを伝え、「2万円も消費する」と話すと、驚きの声が上がった。

「周囲の選手はライバルではなく仲間。十種競技は『みんなで作るもの』と語った。10、11日に秋田市で開かれた今年の日本選手権は、コンディション不良で欠場。悔しさをにじませながら、「やりたいことに挑戦したり、いろいろなことを体験したりしてほしい。自分の枠からはみ出して成長して」とエールを送った。

問われることもあるとし、「競技が大好きだからやっている。つらさを知っているから周囲の選手はライバルではなく仲間。十種競技は『みんなで作るもの』と語った。

奥田選手はこの日、秋田市

の旭川小学校を訪れ、陸上競技に取り組む児童と交流し、指導に当たった。

(小山田竜士)